

みやけの風

第 15 号

平成 13 年 (2001) 1 月 19 日 (金) 発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター気付
 TEL:03-3260-7573 FAX:03-5229-1646

「なんだよ、この寒さは」「だからァ」「オラ、霜柱なんてもんは、初めて見たゾ」「まさか！そんなモンがいるだカシ」「ほんとだってば。10センチくらいあったっけじよ」あちこちでこんな会話が交わされているのでしょうか？寒さも一段と強烈になってまいりましたが、皆様氷の張った道で転ばないようにしてね。

みんなの声

(1) 久留米西団地三宅島会

我が郷土三宅島を離れ、短期間の避難で、島に帰れるつもりでおりましたが、5ヶ月目を迎えてしまいました。

久留米西も、1月15日現在で44世帯となりました。避難当初は何かと慌しく、毎日を不安といつ帰れるのか年内に帰島できるのかと望みをかけておりましたが、それも虚しく年を越すことになりました。団地自治会の皆さんやボランティアの皆さん等多数の人たちに支えられ、やっとの思いで何とか生活していた感じでしたが、年末には自治会主催の忘年会に招待していただいたり、1月13日にはビデオの上映会・新年餅つき大会を開いていただき、団地全体で三宅の人たちを支援していただいておりますので、みんなの顔もここの所ほころんでいるように見えます。また、14日には久留米ライオンズクラブ主催による「三宅島救済 島津悦子歌謡ショー」にご招待いただき、ショーを満喫してきました。

このように地域の皆さんに支えられていることに感謝しつつ、帰島できる日を願い頑張ったいと考えております。これからも地域の様々な行事には、積極的に参加して皆さんと和やかにすごしたいと思っております。

(久留米西団地三宅島会会長 川口 憲)

センターからのお知らせ

(1) みやけの風発行日変更のお知らせ

いつも「みやけの風」をご愛読いただきまして、ありがとうございます。さて、この度発行日を変更することになりましたのでお知らせ申し上げます。これまで毎週初めにお送りしておりましたが、これを毎週末に変更いたします。ファクスで受け取られたあと、近隣の方々に回覧・配布するなどのお世話をいただいている方々が週末のほうが動きやすいのではないかという意見が寄せられたためです。このように、皆様に愛されるセンターを目指して、日夜ない知恵をしぼっております。今後ともご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

(2) 防災とボランティアを考えるつどい

東京災害ボランティアネットワークなどが主催する「防災とボランティアを考えるつどい」が今週末開催されます。2日間にわたって開かれる討論会やシンポジウムには全国各地の被災地から「リーダー」達が出席、貴重な体験談を聞くことができます。1日目の灯りのイベントでは三宅島を想うメッセージ等の描かれたコップにろうそくを灯し、様々な災害や東京での生活などそれぞれの思いを託します。ぜひ、この機会にボランティアたちの日頃の活動を体験してみませんか？

